

特許入印
1974年6月28日

特許行
特許出願人印
600円

特許廳長官 殿

昭和49年6月28日

1 発明の名称 土壌用改良剤

2 発明者 (特許出願人に同じ)

3 特許出願人

住所 愛知県知多郡武豊町南中根45

氏名 近藤 隆彦

4 添付書類の目録

(1) 明細書

1 通

49-074599

明細書

1 発明の名称 土壌用改良剤

2 特許請求の範囲

バルブ繊維を焼成してなる煙炭に肥料の水溶液を吸収せしめた土壌用改良剤。

3 発明の詳細な説明

本発明は土壌の改良剤にかかるものである。バルブ繊維を焼成した煙炭は土壌に施用する際に飛散して取扱いにくい欠点があつた。また、煙炭自体に養分は少なく、煙炭を土壌と混合した後に肥料を施用しなければならなかつた。

本発明は上記の欠点をなくした土壌の改良剤を提供するものであつて本発明はバルブ繊維を焼成してなる煙炭に肥料の水溶液を吸収せしめた土壌用改良剤である。

本発明を実施例について説明する。

実施例

クラフトバルブ調成工程および抄紙工程で得られるバルブ短纖維を2~10mm程度に造粒、もしくは造粒せずに120℃で加熱、乾燥してから400~500

⑯ 日本国特許庁

公開特許公報

⑪特開昭 51-3975

⑬公開日 昭51.(1976) 1.13

⑭特願昭 49-74599

⑮出願日 昭49.(1974)6.28

審査請求 未請求 (全1頁)

序内整理番号 681249

681249

681249

681249

⑯日本分類

4 F4

4 A12

4 A2

4 C3

⑰Int.Cl²

C05G 3/00

C05G 3/04

C05F 7/02

A01N 7/02//

C10L 5/00

じで焼成して煙炭を作る。硝酸カリ 1,082g、りん酸 3,284gおよび硫酸カリ 420gを水 300ccに溶解して肥料の水溶液を作る。同水溶液の全量を上記煙炭 450gに吸収させて本発明の土壌用改良剤とする。

上記のようにして作成した本発明の土壌用改良剤の一使用例として同改良剤の全量を質岩土壌などの土壌 1kgと混合すると膨軟で肥料も有する、作物の生育に好適な培土が得られる。

本発明の土壌用改良剤は水分を含んでいるので飛散せず取扱いに便利である。また、バルブ繊維の煙炭は養水分の吸収力が強いので、作物の生育に必要な養分を生育中に供給するだけでなく、かん水した水分が煙炭中によく吸収されて培土の保水性を高める。

上記の実施例の煙炭原料には、故紙の再生の際に排出されるバルブ短纖維を使用してもよい。

特許出願人 近藤 隆彦

(4) 51-3975

A soil conditioner containing smoked charcoal obtained by firing pulp fibers absorbed with an aqueous solution of a fertilizer.

Smoked charcoal is produced by granulating pulp short fibers obtained in a kraft pulp preparation step and a paper making step to a size of about 2 to 10 mm or, without granulating heating and drying the fibers at 120°C, and then firing the product at 400 to 500°C. An aqueous solution of a fertilizer is prepared by dissolving 1,082 mg of potassium nitrate, 3,284 mg of ammonium phosphate and 620 mg of potassium sulfate to 300 cc of water. The soil conditioner of the present invention is obtained by making 450 g of the smoked charcoal absorb the whole amount of the aqueous solution.